

事 後 評 価 書

箇所名	明和第二地区		事業名	湛水防除事業		課 名	農業基盤整備課	
事業概要	工 期 (下段当初)*	平成12年度～平成20年度	全体事業費 (下段当初)*	1,122 百万円 (負担率: 国50: 県35: 他15)				
		平成12年度～平成20年度		1,360 百万円 (負担率: 国50: 県35: 他15)				
事業目的及び内容		<p>【事業目的】 当地区では、湛防祓川地区により排水機場2ヶ所を整備し、これまで湛水被害の解消に対応してきた。しかし、施設の老朽化による機能低下や機器の損耗の促進、排水河川の堆砂による外水位の上昇等により、近年湛水規模が拡大する状況にあった。又、機場の地元管理は会社条件変化や設備機器の老化や洪水時の管理者の精神的不安から継続が困難な状態になってきており、円滑なポンプ運転管理体制の整備が洪水対応上の大きな課題となってきた。当事業はこの現状に鑑み、下記の工事を実施することにより湛水被害を未然に防止し、地域の治水の安全確保と農業経営の安定に寄与しようとするものである。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川尻排水機場 機場工 φ700mm×1台、φ1000mm×1台 ・藤原排水機場 機場工 φ700mm×1台、φ1000mm×1台 						
1・事業の効果		<p>『直接的効果』 【費用対効果分析】 (S63 [改訂] 解説 土地改良の経済効果より) 計画当初の投資効率 = 1.41 完了後現在の投資効率 = 1.56</p> <p>【効果の検証】 アンケート結果から、事業完了後の降雨に対しては、被害がありませんでした。</p>						
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・工事の施工時には、汚濁防止フェンス等の濁水対策を行いました。 ・アンケート結果からも事業実施前後の自然環境は大きく変わっていないことが伺えます。 						

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

・本地区における認定農業者数と農地集積化率は増加傾向にあります。

	平成12年	平成22年	平成26年
認定農業者数	0人	3人	4人
農地集積化率	不明	14.9%	29.3%

(明和町への聞き取りによる)

※農地集積化率は明和町全体のもの

4・県民の意見

○アンケート調査内容 排水機場を更新した3地区(川尻地区、中村地区、藤原地区)の住民166戸に対して配布しました。

質問事項は1.居住地 2.事業の認知度 3.整備施設の認知度 4.営農状況 5.農地被害の有無 6.農地被害の程度 7.農業施設被害の程度 8.農業面での効果 9.住居被害の有無 10.農業面以外の効果 11.周辺環境への影響 12.その他の意見の12項目です。

○調査結果

農家28戸、非農家50戸の78戸から返信がありました。(回収率47.0%)

- ・Q2.事業の認知度は、76%と非農家の方が高い割合に高い認知度でした。
- ・Q3.施設の認知度も、88%の方に認知されています。
- ・Q4.農家は36%、非農家は64%の割合でした。
- ・Q5.過去5年間の農地冠水状況については、6戸の方から冠水したとの回答がありました。
- ・Q6.具体的な作物被害状況では、3戸の方が水稻に冠水の被害があったとの回答でした。
- ・Q7.農業施設への被害はありませんでした。
- ・Q8.農業面での効果は、全体の6割程度の方が良くなったと回答いただいています。悪くなったとの回答は、ありませんでした。
- ・Q9.住居への被害は、ありませんでした。
- ・Q10.農業以外の効果につきましては、「安全・安心感が増した」「排水が良くなった」と良い効果を多く答えていただきました。
- ・Q11.周辺環境への影響については、大半の人が影響がないと回答しました。
- ・Q12.その他のとして以下の意見がありました。
 - ・ポンプの排水能力を知りたい。
 - ・ポンプは自動で動くのか?それとも手動なのか?知りたい。など施設に関する質問や
 - ・ポンプ場は地域の重要な施設であるので、しっかり維持管理して欲しい。
 - ・近年、頻発しているゲリラ豪雨に対応できるようにして欲しい。

○まとめ 「ポンプ能力が向上し、排水が良くなった」「大雨時でも安全・安心感がました」「環境への大きな影響はない」と概ね事業は評価していただいていると判断しています。

5・再評価の経緯

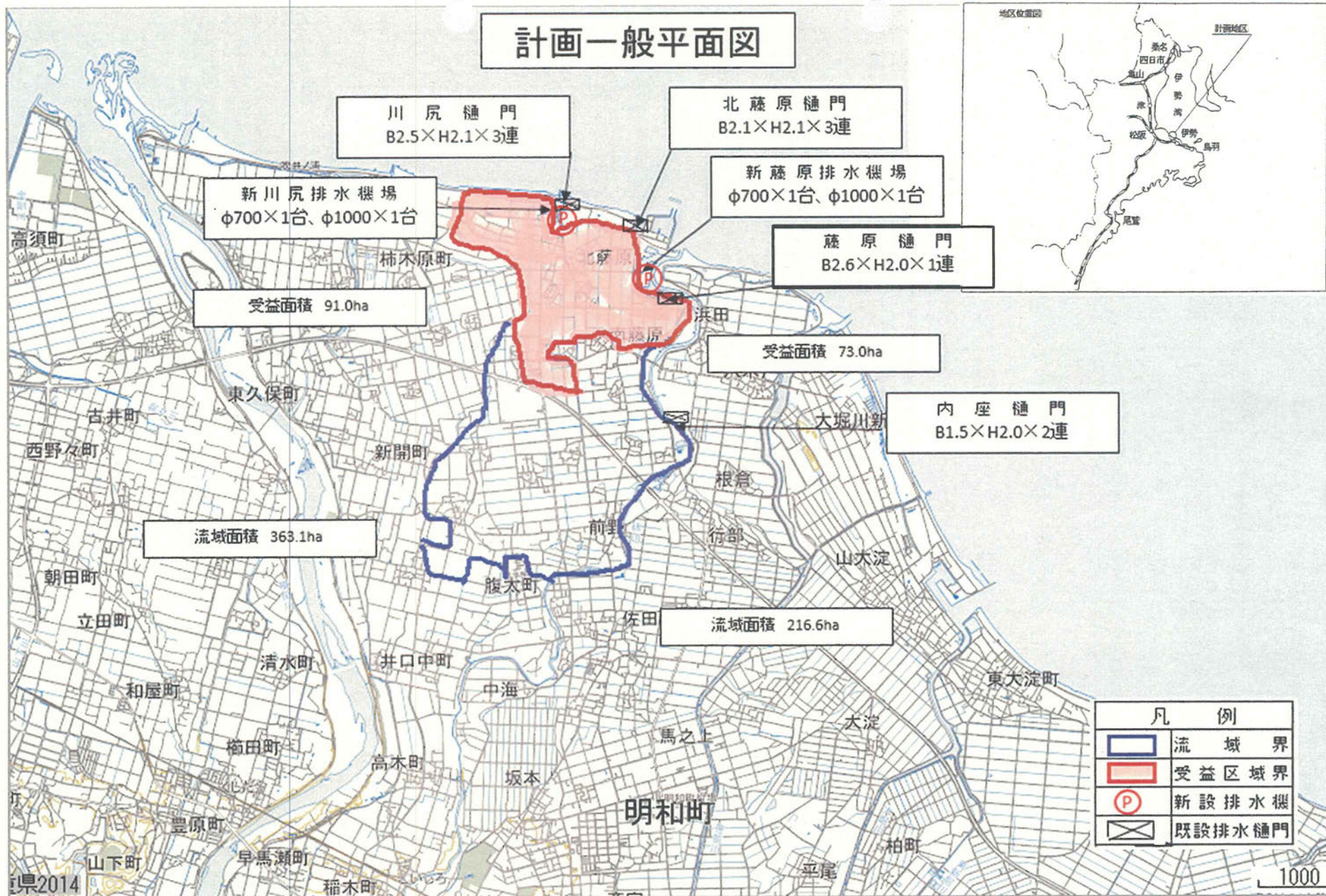
再評価は受けておりません。

6・今後の課題等

○事業実施における課題

南海トラフ地震発生の可能性が高まっており、排水機場の耐震化が必要です。

計画一般平面図



川尻樋門
B2.5×H2.1×3連

北藤原樋門
B2.1×H2.1×3連

新川尻排水機場
φ700×1台、φ1000×1台

新藤原排水機場
φ700×1台、φ1000×1台

藤原樋門
B2.6×H2.0×1連

受益面積 91.0ha

受益面積 73.0ha

内座樋門
B1.5×H2.0×2連

流域面積 363.1ha

流域面積 216.6ha

凡 例	
	流域界
	受益区域界
	新設排水機
	既設排水樋門

1000